

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和 14 年度第 8 回)

日時 昭和 14 年 11 月 7 日(火)午後 5 時開會同 8 時閉會

出席者 齋藤 大吉 渡邊 三郎 松下 長久
吉川 晴十
前會長 河村 颯 水谷 叔彦
監事 堤 正義
常務委員 三島 徳七 鹽澤 正一

協議事項

1. 野田文庫幹事及委員任期滿了に付全員留任の件 (可決)
2. 野田文庫を毎月第一及第三日曜日に閉館する件
3. 講演會開催の件

日時 昭和 14 年 11 月 30 日(木)午後 6 時 30 分開會

場所 帝國鐵道協會々館三階

講演者及講演

- (1) 歐米に於ける最近の航空機材料に就て
東京帝國大學教授 航空研究所員 工學博士 石田 四郎君
- (2) 歐米視察所感
中央工業株式會社取締役會長 工學士 今井 文平君
- (3) 評議員會開催の件
評議員増員の件 開會期日昭和 14 年 12 月 7 日
- (4) 入退會者及會員異動

會員異動總計表 (昭和 14 年 10 月末日現在)

	名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	計
入會者數	—	—	—	+ 6	+ 32	+ 38
退會者數	—	—	—	—	—	—
死亡者數	—	—	1	—	—	1
轉格者數	—	—	—	+ 224	224	0
現在會員數	14	49	21	1,904	1,457	3,445
前報對増減	—	—	- 1	+ 230	- 192	+ 37

報告事項

1. 昭和 14 年 10 月分收支報告
2. 電氣製鋼研究會小委員會
第三次第一小委員會 10 月 10 日 場所 日本鐵鋼協會
第二次第二小委員會 10 月 13 日 " "
3. 野田文庫購入圖書 邦書 2 部 洋書 5 部
4. 役員死亡
贊助會員評議員北海道炭礦汽船會社及日本製鋼所取締役會長貴族院議員磯村豐太郎君 10 月 26 日午前 1 時 15 分狭心症のため急逝せられたり

編輯委員會 (昭和 14 年度第 7 回)

日時 昭和 14 年 10 月 25 日(水)午後 5 時開會同 7 時閉會

出席者 河村前會長 吉川 理事
委員 石原 善雄 五百旗頭啓 田中 清治
山田良之助 山口 眞申

協議事項

1. 鐵と鋼第 25 年第 12 號論說原稿選定

決定

- (1) 炭素鋼の結晶粒に就て 柳澤 七郎 山下 政明
- (2) 鋼中の窒素の存在狀態に關する研究 第 1 報
 $Cr \cdot Ni \cdot Cr$ 並に $Ni \cdot Cr \cdot Mo$ 鋼中の Ni の存在狀態に就て 早矢仕 功 胡田 優
- (3) 鐵鋼分光定量分析の實用化に關する實驗 門川 勳 長田 欽也
- (4) 滿支視察談 兒玉 晋匡
- (5) 鹽浴燒入に關する研究 阿部 三郎

2. 鐵と鋼第 25 年第 11 號上掲抄録原稿選定
3. 鐵鋼要覽印刷に關する件
4. 野田文庫を毎月第一及第三日曜日に閉館の件
理事會へ提議する事

報告事項

1. 特許拔萃寄稿員井口定雄君退任に付き同君推薦に依り後任を工學士及川象平君に委託せり

關西支部第四回商議委員會

日時 昭和 14 年 10 月 21 日(土)自午後 5 時

場所 川崎造船所製鐵工場

出席者 荒木 宏 井上 順三 川上 義弘
川端 駿吾 田口 由三 多賀谷正義
室井嘉治馬 西山彌太郎 小森 富作

議事

1. 第 4 回例會に關する件
見學會及座談會開催期日及場所選定の件
期日 11 月 25 日(土)午後より
場所 中山製鋼所
座談會 中山製鋼所見學後同所講堂に於て開會
2. 支部寄附金募集の件

講演會 日本鐵鋼協會、鐵鋼聯盟聯合開催

時 日 昭和 14 年 10 月 30 日(月)午後 6 時 30 分

演題及講演者

- (1) 獨逸國レン式製鐵法の現狀に就て (幻燈及映寫)
Bericht ueber den gegenwaertigen Stand des Krupp Rennverfahrens.

Hrr Dr. Friedrich Johannsen,
Magdeburg, Deutschland.

通譯 クルップ代表事務所員 鈴木泰次郎君

- (2) 滿洲産業視察談

東京帝國大學教授 工學博士 三島 徳七君

定刻河村前會長閉會の辭を述べ大拍手裡にヨハンゼン博士登壇鈴木氏の通譯にてレン式製鐵法を詳細に講演し演了後レン式操作實況を映寫を以て公開され聴講者をして最も興味深からしめたり。

次に三島博士は松下理事の司會にて滿洲産業視察に就て (1) 旅行の目的及其の行程 (2) 石炭資源と其利用價值 (3) 鐵礦資源と之に關する研究 (4) 礬土頁岩とアルミニウム製造の狀況 (5) 非鐵金屬資源と其の開発狀況 (6) 其他を詳細講演あり聴講者一同感

激を表し大盛會裡に松下理事講演者に厚く謝辭を述べ大拍手裡に閉會を告ぐ今回の講演會は聴講者約 300 名程にして記録的盛會を極めたり、茲に講演者に對し深甚の謝意を表す。

第 2 回耐火物特別座談會 日本鐵鋼協會 大日本窯業協會聯合

日時 昭和 14 年 11 月 5 日(日)午後 1 時開會同 7 時閉會

場所 藏前工業會館

出席者 日本鐵鋼協會側 委員 松原武三郎君 藤村哲之君
佐々木茂次君 芦原光太郎君 里井孝三郎君 吉川晴十君

委員外 沖本雄三君 本城 武君 河村 駿君
大日本窯業協會側 委員長 黒田泰造君 幹事 高田安雄君
小野田勝男君 加藤孝治君 藤原 嘉君 河内 通君
高良 淳君 中西健治君 笹井熊之助君 吉木文平君
伊藤集房君 藤田新三郎君 若林 滋君 秋山桂一君
芝田理八君

外傍聴者 8 名

河村博士開會の辭を述べ黒田委員長司會す。並形耐火煉瓦の寸法 230×114×65mm と制定することに決定大日本窯業協會、日本鐵鋼協會連署にて商工省に陳情具申することになる。尋で珪石煉瓦資源等に就き意見交換、午後 4 時より講演に移る。

講 演

- 1. 熔鋼の取鍋及樋煉瓦侵蝕作用に就て 里井孝三郎君
- 2. マグナイト煉瓦の性質に就て 高良 淳君
- 3. トンネルキルンに依る煉瓦製造に就て 藤田新三郎君
- 4. レン法回轉爐用各種耐火物の性質に就て 吉木 文平君

講演了り河村博士閉會の辭あり時午後 7 時。

陳 情 書

石炭購入量ニ關スル件

今般石炭ノ販賣統制ニ依リテ耐火物製造者ニ對シ其ノ購入量ヲ約三割減額致サレ候處本邦耐火物製造量ノ七割内外ハ製鐵製鋼ノ爐材トシテ使用セラレ居リ鐵鋼生産量 100 噸ニ付約 10 噸ノ耐火物必要ニ有之耐火物製造ニ於テ石炭ノ三割減額ノ直チニ耐火物製造量ノ三割減ト相成製鐵製鋼ニ多大ノ支障ヲ招來シ時局重大ナル折柄看過スベカラザル儀ト存候

就テハ耐火物製造者ニモ鐵鋼製造者ト同一比率ニ於テ石炭ヲ購入シ得ベキヤウ御明察御考慮相成度此段陳情仕候 敬具

昭和十四年十一月 日

東京市麴町區丸ノ内二丁目十番地仲十四號館
社団法人日本鐵鋼協會々長 齋藤 大吉
東京市京橋區銀座西四丁目五番地
社団法人大日本窯業協會々長 山田清太郎

燃料局長官 小島 新一殿

建 議 書

耐火煉瓦並型寸法統一ニ關スル件

現今我國ニ於テ行ハル、耐火煉瓦並型寸法ハ日本標準規格ヲ初メ次ノ如ク大體六種アリ其爲メ煉瓦製造者ハ貯藏品ヲ置クコト能ハズ

註文者ヨリ寸法ヲ聞キテ初メテ製造スル事トテ使用者ハ註文後半年若シクハ一年ヲ待タザルベカラズ之ヲ統一シテ貯藏品ヲ置キ得ルヤウスル事ハ煉瓦ノ製造者及ビ使用者ノ双方ニ甚ダ便益多ク時局ニ對應シテ國家的ニ極メテ有意義タルベシ

	長サ	幅	厚サ
普通赤煉瓦標準型 (JES 8)	200mm	100mm	60mm
耐火煉瓦標準型 (JES 10)	215	105	65
〃 獨逸型	240	120	70
〃 英國型	229 (9")	114 (4 ¹ / ₂ "')	63 (2 ¹ / ₂ "')
〃 英國型	230	115	65
〃 東京型	227	109	60
	(7 寸 5 分)	(3 寸 6 分)	(2 寸)
〃 瓦斯型	227	114	75

標準型 (JES 10) ハ小ニ過ギ之ヲ以テ窯爐ヲ築造スル時ハ所要箇數多ク其ダケ手間ノ掛ル譯ニテ不經濟ナル故廣ク行ハレズ又獨逸型ハ我煉瓦積工ニ對シ大ニ過ギハ幡製鐵所以外殆ンド採用セラレ居ラズ面シテ耐火煉瓦製造額ノ七割内外ヲ使用スル鐵鋼製造窯爐ニハ英國型最モ多ク行ハル社團法人大日本窯業協會ニ於テハ昨春耐火物ニ關スル特別委員會ヲ設置シ耐火物ノ規格、仕様書等ノ調査研究ヲ各門ニ別チテ夫々擔當委員ニ委嘱シタルガ耐火煉瓦並型寸法ニ就キテハ關係各方面ノ意見ヲ問ヒ次記寸法ヲ以テ最モ實際ニ適合スルモノト認メタリ即チ

長サ	幅	厚サ
230mm	114mm	65mm

依テ更ニ製鐵業者ニ可否ヲ尋ネタル處何レモ賛成セラレタル故ニ社團法人日本鐵鋼協會ト社團法人大日本窯業協會ト合議ノ上耐火煉瓦並型寸法トシテ上掲ノ數值ヲ以テ成ルベク早キ時期ニ於テ統一セシメラレンコトヲ希望スル次第ナリ

以上建議致候間御採擇相成度奉願上候 敬具

昭和 14 年 11 月 日

東京市麴町區二丁目十番地仲十四號館 社団法人日本鐵鋼協會
會長 齋藤 大吉
東京市京橋區銀座西四丁目五番地 社団法人大日本窯業協會
會長 山田清太郎

商工大臣 伍堂卓雄殿

日本鐵鋼協會關西支部第三回例會狀況

日時 昭和 14 年 10 月 21 日(土) 午後 1 時半開會

場所 神戸製鋼所集會場

講演 午後 2 時 30 分開會 傍聴者 約 200 名

- (1) 線材の製造方法に就て 神戸製鋼所 宮下 俊二君
- (2) 川崎造船所製鉄工場概要 川崎造船所製鉄工場技師 中島 道文君

見學 午後 3 時 30 分より 見學者 約 200 名

- (1) 神戸製鋼所第二製線工場
- (2) 川崎造船所製鉄工場

事務員採用

庶務 俣野 芳子 昭和 14 年 10 月 21 日

新入會者氏名 (受付 10 月末日)

居 所 又 は 宛 名 先	勤 務 先 又 は 職 業	會 員 別	入 會 者 氏 名	紹 介 者
富山縣射水郡新湊町日本鋼管會社電氣製鐵所		正會員	大 橋 喜 重君	菅村 松部 橋源 誠郎 鈴村 木 橋 太郎 村風 松間崎 篤善 太郎 大後 藤岡 有光 良 片甲 藤原 篤橋 次 萩 間松 篤橋 太郎
滿洲國安奉線南攻南明臺煤鐵公司社宅	本溪湖煤鐵公司鑛業所機械課	"	渡 邊 宗 平君	
大阪市西成區粉濱本町 4 / 60	大和製鋼株式會社	"	廣 中 勉君	
滿洲國奉天市浪速通 28 三菱商事奉天支店內	工學士	"	辻 忠 夫君	
兵庫縣武庫郡精道村葦屋大樹 814	工學士 浪速工務所電氣鑄鋼所	"	武 智 三 郎君	
大阪府豐能郡庄内村洲到止 8		"	特殊鑄物株式會社	
滿洲國撫順市松岡町 5 丁目 21 番地 20	撫順炭鑛製鐵試驗工場製鋼係	准會員	富 田 儀 助君	名 黒 和 孝
朝鮮咸北城津邑雙浦町日本高周波城津工場第三製鋼掛第五工場		"	中 島 正 八君	大 友 義 雄
麻布區本村町 175	東京帝大工學部在學	"	藤 井 脩君	吉 川 晴 十
板橋區上板橋 5 / 5609	千代田精工株式會社	"	松 井 正 利君	鹽 澤 正 一
名古屋市熱田區千代町字平畑 320 / 1	大同製鋼株式會社築地工場	"	河 村 和 夫君	木 名 瀬 誠
茨城縣多賀郡多賀町櫻川社宅東 13 號	工學士 日立製作所多賀工場原料部	"	今 野 賢君	田 村 勝 人
神奈川縣川崎市小松町 543 / 1	日本重工業會社熔鋼係	"	佐 藤 健 二君	村 瀬 鐵 造
江戸川區逆井 1 / 22	日立製作所龜有工場	"	中 川 利 八君	村 松 橋 太 郎
青森縣下北郡大湊町日本特殊鋼管會社大湊工場		"	柴 田 實君	梅 津 七 藏
大阪市大正區船町 3 中山製鋼所		"	屏 賀 勝君	中 島 三 太 郎
神戸市灘區灘南通 1 / 15 / 2	神戸製鋼所第二鑄鋼工場	"	桑 鶴 嘉 平君	梅 澤 光 三 郎
滿洲國奉天市大和區霞町 49	奉天造兵所檢査課	"	荒 木 友 次君	淺 原 隆 三
大阪市天王寺區大通 2 / 6 西村方	壽重工業株式會社檢定課分析係	"	初 田 源 次 郎君	内 野 久 雄
世田谷區北澤 4 / 341 青雲寮内	東京帝大工, 治在學	"	長 尾 肇君	田 中 清 治
神戸市葦合區脇濱町神戸製鋼所製鋼部工務課		"	七 妹 尾 操君	小 高 根 建 一
富山縣上新川郡堀川町西田地方 293	本江機械製作所	"	谷 芳 信君	村 松 橋 太 郎
青森縣下北郡田名部町日本特殊鋼管會社内		"	池 松 忠君	鈴 木 千 代 藏
大阪市天王寺區上汐町 6 / 71	壽重工業會社大津工場	"	天 野 嘉 信君	内 野 久 雄
川崎市渡田日本鋼管會社條掛掛		"	廣 瀬 義 國君	松 下 長 久
"		"	波 田 芳 雄君	"
神戸市須磨區須磨本町 113 / 3	神戸製鋼所第二製鋼工場	"	藤 本 實君	梅 澤 光 三 郎
市川市八幡 150 本八幡製鋼所		"	上 中 正 一君	村 松 橋 太 郎
小倉市堺町 60 米原越夫方	工學士 日立製作所若松工場	"	佐 々 木 正 男君	宮 下 格 之 助
大阪市大正區船町 3 中山製鋼所		"	川 田 多 佐 雄君	辻 本 壽 貞 夫
仙臺市片平町東北帝大工學部金屬工學科	在學	"	澤 繁 樹君	濱 住 松 次 郎
神戸市葦合區脇濱町神戸製鋼所製鐵部		"	小 林 茂君	山 田 實
蒲田區今泉町 111	東洋精材會社鍛造工場	"	服 部 良 一君	倭 周 藏
八幡市大字尾倉 888 / 3 門田職員合宿所		"	中 澤 山 郎君	内 川 悟
神戸市葦合區脇濱町神戸製鋼所第三製鋼部		"	平 田 一 雄君	山 田 實
大阪市西淀川區花川町海友莊内	阪大, 工, 治在學	"	淺 野 政 種君	多 賀 谷 正 義
尼崎市難波新町 3 / 249	中山製鋼所	"	多 田 喜 與 治君	増 田 作 美
仙臺市片平町東北帝大工學部金屬工學科	在學	"	森 正 彦君	濱 住 松 次 郎

轉 格 者 (准會員より正會員に轉格 10 月 31 日迄)

田中 修君	欄木 敏郎君	米井 春雄君	瀧 勇君
高島德三郎君	高岡 弘君	金近 滋君	村川 正一君
西田彦太郎君	川島 幸雄君	田中 恒久君	塚田 武雄君
河村領太郎君	大森 基一君	酒井 新三君	原田 靜夫君
田中 實君	竹田 達二君	川瀨 浩君	川合 幸晴君
西 良 夫君	立石 左文君	高塚 貫一君	川畑 正夫君
谷 壬 吉君	本田 俊三君	和田 吉彦君	田邊 友和君
原 茂 樹君	鴨谷 嘉信君	谷口 三郎君	小田 朝見君
大森 恒長君	吉川 三郎君	瀧本 石郎君	若松 志廣君
高橋 了君	渡邊 茂君	吉田 豐君	太田 秀雄君
井上 孝君	太宰 三郎君	瀧 元君	渡邊 義雄君
仲光 正保君	鷓瀨 達三君	吉田 三郎君	横山 甚三君
玉田 榮一君	大友 義雄君	中澤 巖君	神山 正明君
高尾善八郎君	黒木六一郎君	中野 秀光君	日根野太郎君
高瀬 孝夫君	小川 弘二君	武藤 千秋君	今西 彰君
植松 道三君	中島 登二君	園田 一夫君	永沼 行雄君
谷阪正之亮君	立山 政治君	中尾富士雄君	柳澤 俊郎君
谷山 甚太君	中本 榮一君	山岡 一男君	松居毅久知君
片岡 修君	坪田 隆利君	高橋 巖君	中澤 捷二君
安高 忠雄君	桑田坦次郎君	牛山 五介君	岩淵 憲治君
山本 勝善君	中島 岸三君	塚原 秋廣君	服部 宗一君
野村 丈夫君	吉田 英雄君	松平勝之助君	山内 久夫君
井上 太君	高田 元弘君	矢野 壽一君	吉田 直藏君
鍵和田暢男君	曾木 武光君	角田 資敏君	津山 豐雄君
中村 公一君	大山 良一君	山本 藤助君	大關 忠君
津村 好春君	仲宗根武雄君	瀧本 宗吉君	奥村 潔君
武田 魁君	金丸 陟章君	八代 陽七君	山田 史郎君
吉田 作次君	山口 昇君	藪内 清三君	大谷 孝吉君
熊地 直政君	荻原 巖君	田村 勝人君	丹 浩 平君
岩屋 稜彦君	利倉 潤亮君	山本 都治君	立石 亨三君
川野 重行君	上田 滿正君	中村 文夫君	大岡 敏行君
山根 可雄君	原田 芳君	中川 正男君	中畑高次郎君
山口 三郎君	龜岡 勇治君	竹田 甚藏君	眞下 喜博君
瀧本 鐵男君	山本 正一君	野田 浩君	中路 武雄君
田尻 惟一君	孫 延 烈君	田中以勢雄君	河本 信夫君
平野 昇君	藤田 宏君	南 善 亮君	相原 三郎君
高田 友昭君	石井 利夫君	杉田 光治君	小南 久茂君
島田 辰樹君	御橋 吉夫君	辻畑 敬治君	河南 孝夫君
鈴木 甫君	小山代三郎君	望月 重信君	宮永 芳樹君
吉岡 順君	山本 卓司君	寺澤 稻雄君	遠藤 太郎君
清家 好夫君	榎並 忠照君	矢崎 喬君	中村 己好君
左村 直君	出口喜勇爾君	杉原 志郎君	有吉三吉郎君
鎌田 保吉君	山内 信夫君	新井 正二君	淺井 清造君

須田 榮君	宇野 亨君	野村 進君	上床 健彦君
善田 俊次君	秋元 信一君	吹田 九郎君	三好 穰二君
熊澤 敏夫君	國武 房夫君	見邊 允君	三本木貢治君
澤本 豐君	砂川 鐵雄君	矢島 善夫君	吉川 四郎君
杉山 尙之君	佐藤 弘君	城戸 五郎君	兒玉 亦二君
勝江 正滿君	川村 知君	關口 俊一君	齋藤治郎左衛門君
藤本 一郎君	三宅 武夫君	高野 侍郎君	眞殿 統君
木尾 一雄君	木下 恒雄君	小島 豐榮君	柴田 三郎君
檀 百太郎君	北野 寛慈君	増田 武雄君	行村 行雄君
茅原 俊一君	平方 淳一君	山下 政明君	北島 哲男君
藤森喜久惠君	滿田 十次君	寺山 雅康君	見須 二郎君
有田卯三郎君	江崎 善藏君	三村 徹榮君	峰 一君
八木 正朝君	久枝惣二郎君	西原 清廉君	田村 元君

計 224 名

死 亡 者

賛助會員評議員磯村豊太郎君 (10 月 26 日) 正會員前評議員
 岩瀬德藏君 (11 月 1 日) 正會員武田龜藏君 (10 月 24 日)
 以上三氏の御逝去は洵に哀惜の至りに不堪茲に謹んで弔意を表す

日 本 鐵 鋼 協 會 野 田 文 庫 購 入 圖 書 (10 月 中)

外 書	
Authors	Titles
Gmelins	Gmelins Handbuch der anorganischen Chemie. System-Nummer 59. Eisen, Teil C. Lief. 2, 1939.
Gmelins	Gmelins Handbuch der anorganischen Chemie. System-Nummer 59. Eisen, Teil FII Lief. 2.
Frick C. & Dausch H.	Taschenbuch für metallurgische Probierkunde Bewertung und Verkaufe von Erzen. 1932.
Maynard H. B. & Stegemerten C. J.	Operation Analysis. 1939.
American Mining Congress	1939 Year Book on Coal Mine Mechanization. 1939.
邦 書	
著 者	書 名
小島 精一著	東亞重工業論 昭和 14 年版
岡島奈良藏著	鑄鐵の熔解配合 昭和 13 年版